

そらこめ通信 No.36 2013.07発行

日頃より弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。心よりお礼を申し上げます。
6月に入り比較的暖かな日差しが続き、私共の圃場にも初夏らしい新緑の季節がやってきました。向こう1カ月間月の長期予報では、7月前半まで高い気温が続くとのこと。7月後半の気温も平年並みかやや高いということで少し安心しているところです。

以前の「そらこめ通信」にも書きましたが、今年から新たに2つの品種の米の栽培を開始し、栽培品種は全部で7つになりました。新たに始めた品種のひとつは「きたくりん」といい、北海道中央農業試験場が開発した新品種(旧系統名 空育172号)です。「ふっくりんこ」を父に持つこの米は、その良食味性に加えて、①いもち病に強いこと、②カメムシの被害にも強いという2つの特徴があります。北海道は冷涼な気候から、北のクリーン農産物表示制度「YES! clean」では、薬剤量などの基準も本州のそれに比べて元々低く設定されているのですが、このコメはそれをさらに削減できる可能性があるというわけです。二つ目の品種は「ゆきひかり」。アレルギー症状の改善に有効との仮説が立てられ現在各所で研究中の米ですが、解明されていない部分が多いのも事実の米。弊社としては、消費者の選択肢が少しでも広がるならば…と栽培に踏み切ったわけです。

弊社では、育苗ハウスの空きを利用して今年も花卉の栽培を開始しました。品種にもよりますが、北海道の花卉は冷涼な気候による品質の良さもあり、比較的高値で取引されています。冷涼な気候がハンディだった時代は遠い昔の話になってきたようです。



シネンシスの移植作業(5月30日)



ラジコンボートで除草剤散布(6月5日)



ソバ畑の耕起作業(6月5日)



花卉栽培に使わない育苗ハウスの解体(6月6日)



ダリアの苗です(6月7日)



移植が終わったダリア「コクチョウ」



シネンシスの草取り(6月7日)



ソバの種まき(6月8日)



ソバ畑でのバックローラ作業(6月9日)



花卉用ハウスの耕起作業(6月11日)



花卉用ハウスの戸枠作成(6月11日)



田植え後の水田のようす(左〜きたくりん、中〜ゆきさやか、右〜ゆきがすみ、いずれも新品種)(6月12日撮影)



ゆきひかり(6月12日撮影)



ダリア「かまくら」の移植(6月13日)



自走式除草機の整備(6月13日)



沼田町内にグループが保有する土地の草刈作業(6月20日)〜グループ企業からの委託業務です

弊社の耕作面積34haのうち水稲の作付けが約24ha、残りはソバなどを作っています。ソバ以外の副業として花卉の栽培も行っていますが、その面積はごくわずか。しかし、収入面からいえばソバより花卉の方が、手がかかる分、実入りが多いのも事実です。水稲における農繁期以外の隙間をどう埋めるか…農家が抱える課題です。

これからも安全で美味しいお米の生産に努めますので、引き続きご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

インターネットで美味しいお米!

(株)空知こめ工房 ホームページ
<http://www.sorachi-kome.jp/>
 ブログ「生産日誌」更新中です